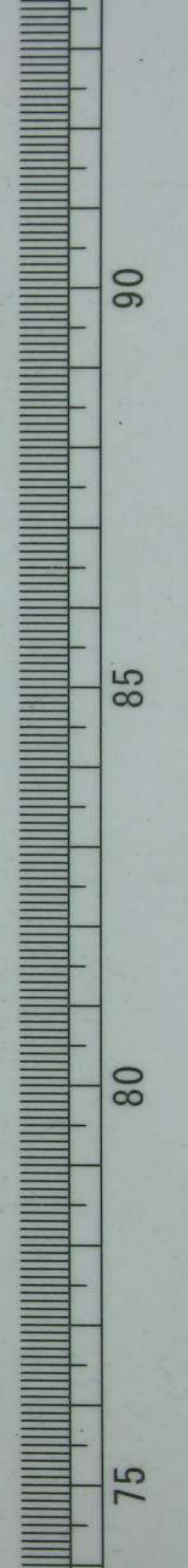


三浦源三郎  
仙郎

西垣文庫  
文庫10  
6734







Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged vertically around the illustration. The text includes characters such as 全 (All), 東 (East), and 西 (West).

文庫10  
6734

西頭文庫



トニ

一、  
海をて鮎つや  
美ら毒羅  
禁へんばら



海をて鮎つや

しうのま今や  
怪めて猫をつる



トニ

一、  
けりし如きんぞ一  
ちきんあまの

地を  
雷  
よんが  
の  
一  
あ





僕、好んで酒を飲む  
 さぬが  
 せうんの婦人が  
 折角の筆



せうな一人のや  
 うきもの  
 一紙ど  
 原我とつた  
 僕もする



△  
 一

藝者酒を  
 人力車ま  
 かりて  
 我輩に  
 なる。



主は春の日記  
 待たし  
 ホウホケ  
 今  
 多があく





おーの浮舟に遊ぶ

かたがは

けり

いふに

久しう

船の

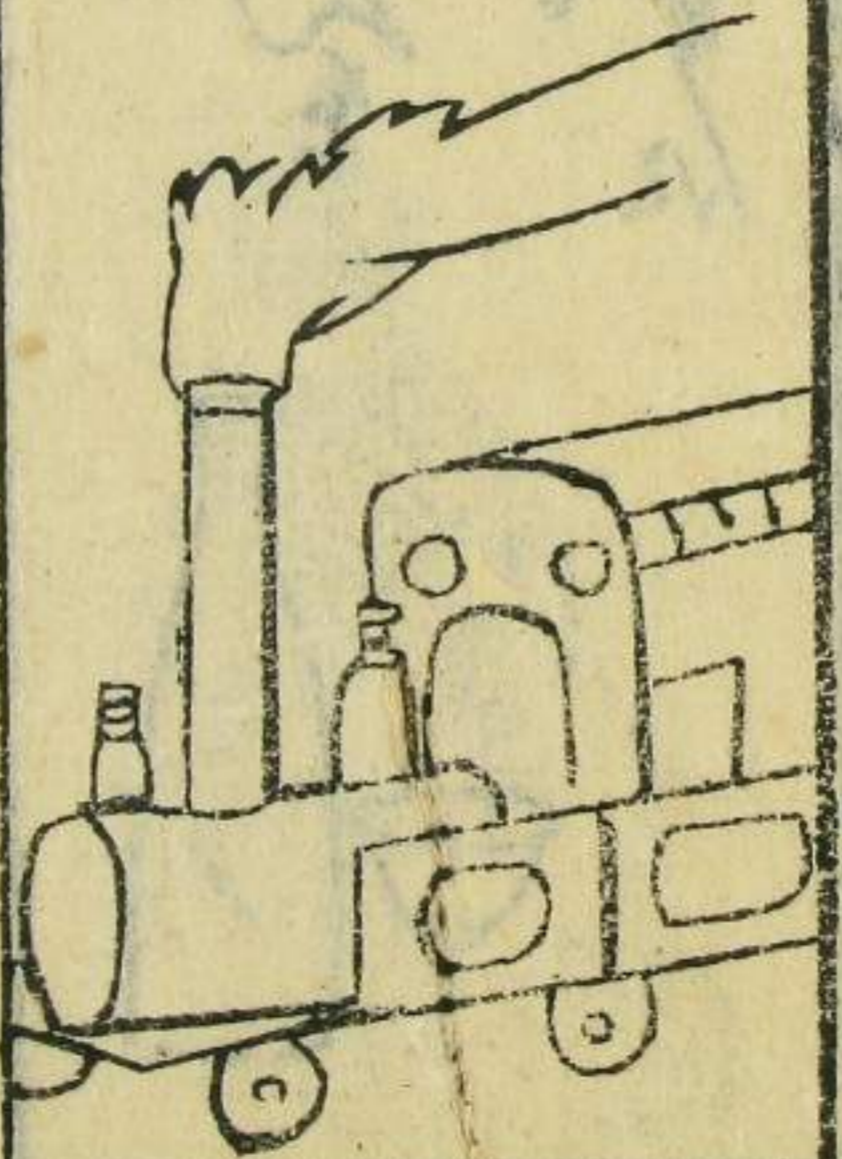
福の

いふに



1 x

アレマア  
今一ト  
烟小  
陸



二世

海

ふ

いふに





神は女雲の

少る者しとるさそ

逢ふ人一はよ

無妙難ひ



あ〜と酒利

うんごんさん

狂ちよく白ちよくと女来たる。

中ちゆうふやちん



私わたくしや小買こかいのたまふ

主に帯おビさ

しとあ  
たひ



洋装やうさうえんた

あまののふ  
つりも

袖そであひる

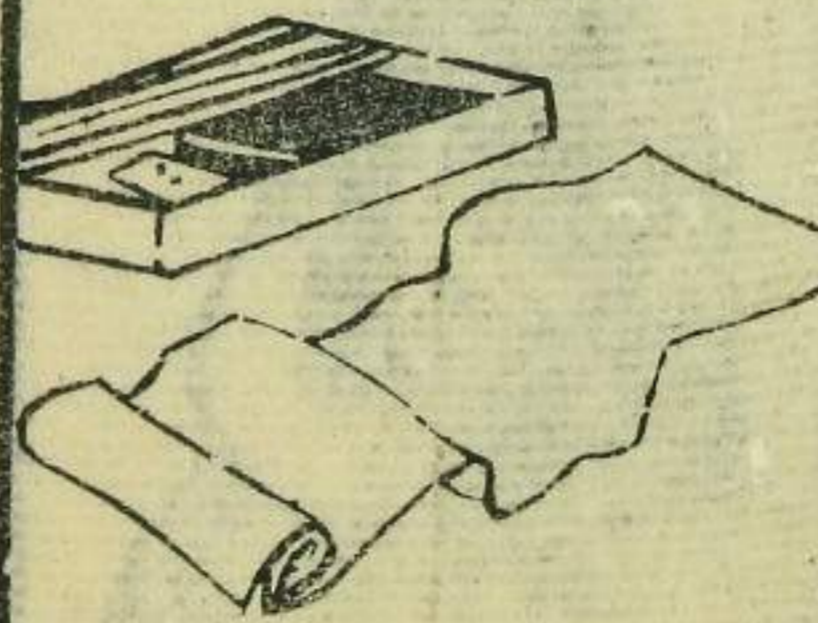




一  
 紙に書きたる私の心  
 こそは紙書よ  
 たりか  
 せぬ  
 桐原氏の  
 家  
 己  
 世界の縁結ぶ心



各にこの心  
 昔方の物と  
 しるぞ  
 送られた心



△  
二

各にこの心  
 昔方の物と  
 しるぞ  
 送られた心  
 因果

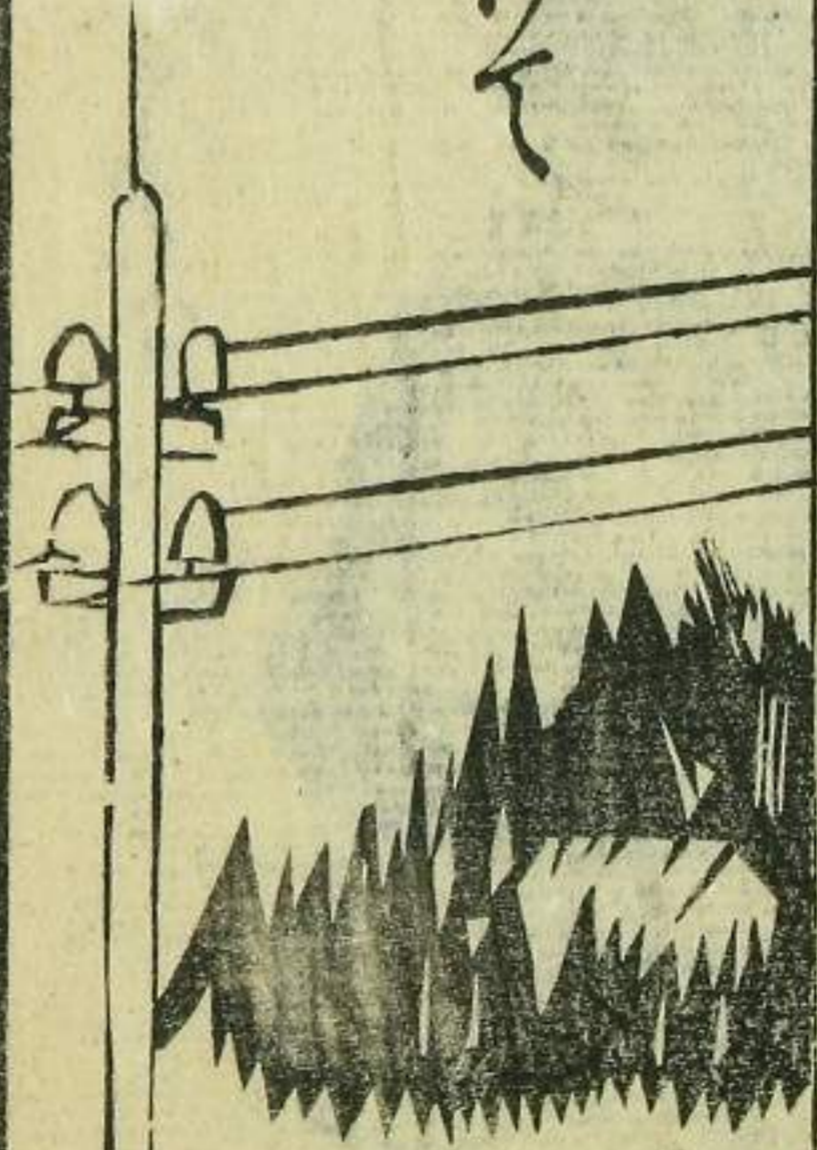




ござりせしつゝぬし  
 おれおれまに  
 ぶさよまふわて  
 物まらね



かへば出雲へ  
 電伝玉け  
 ろくまうと  
 おおねん



X  
 1

ぎんねへ止  
 送しつゝ祝儀  
 家らとてを  
 ちいさく



ちいさく  
 昔もあつた  
 ちいさく  
 人の口





いかにしハ部云

中とたしの

いかにしハ部云



いかにしハ部云

いかにしハ部云

いかにしハ部云



いかにしハ部云

猫と靴の法

いかにしハ部云

いかにしハ部云

いかにしハ部云



いかにしハ部云

いかにしハ部云

いかにしハ部云

いかにしハ部云





孝い男とく和親を  
 結ぶ  
 たがひは日本 回士



ちまねいさん  
 の  
 様子



一日とら後口  
 中時  
 何と福あはれ  
 味付



物あかい世  
 何とあはれ  
 何とあはれ  
 店のそと





Handwritten scribbles on the left page.

清ひ苦界よ  
沈むし  
主はたみ  
何のそは



神もたも信  
引もあまの  
おまへ申へ





